

事業名 **美術鑑賞講座・館長による美術史連続講座**

趣 旨 美術に関連する講座を行い、美術館や美術作品に親しむ機会とする。

実施主体 新潟県立近代美術館

参加対象 一般

参加者数 ①9 ②35 ③47 ④50 ⑤9 ⑥実施予定 ⑦実施予定 ⑧37 ⑨26  
合計213

回数 9回 日数 9日 時間 計約13.5時間

場所 新潟県立近代美術館講堂

内容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	5月19日14時～	三芳悌吉の絵本	宮下東子主任学芸員
	内容・方法	常設展で展示中であった絵本の原画「ある池のものがたり」を中心に試作段階から絵本完成までの変化や画面構成などについて紹介	
2	6月2日14時～	西洋の版画デューラーとレンブラント	今井有主任学芸員
	内容・方法	西洋版画史の中でのデューラーとレンブラントの位置づけや特徴について紹介	
3	7月7日14時～	フランス近代音楽を聴く ～美術とのかかわりから	長嶋圭哉美術学芸員
	内容・方法	19世紀後半から20世紀のフランス音楽と美術のかかわりをスライドを交え紹介	
4	7月21日14時～	作家はパリで何を学んだか	平石昌子主任学芸員
	内容・方法	企画展の内容に合わせ黒田清輝らがパリ留学から何を学んだかを考察し紹介	
5	12月8日14時～	美術教育における鑑賞	長谷川重雄学芸課長
	内容・方法	美術教育における鑑賞の指導内容や対話型鑑賞とその実際を紹介	
6	1月26日14時～	横山操と新潟	横山秀樹副館長
	内容・方法	県出身の日本画家である作者の主要な作品と新潟とのかかわりについて紹介	
7	2月23日14時～	新潟の写真家たち	桐原浩学芸課長代理
	内容・方法	新潟の写真史100年を振り返り、早くから活動した写真家と作品を紹介	
8	10月13日14時～	快慶の彫刻	水野敬三郎館長
	内容・方法	鎌倉彫刻の代表的な作家、快慶の彫刻とその生成の背景を紹介	
9	10月27日14時～	宋代美術と鎌倉彫刻	水野敬三郎館長
	内容・方法	鎌倉彫刻へ影響を与えた宋代美術について、重源などの作例から紹介	

成 果 ・ いきいき県民カレッジとも連携し、テーマ毎に興味・関心のある方が参加し、各講座では豊富なスライドや資料提示を行い、一般的または専門的な知識・理解を深め、美術文化に対する造詣を深めることができた。参加者からは、好意的な意見が寄せられ好評を博した。

課 題 ・ 同じ講座で複数回の実施や時間を変えての実施を望む声もあり、運営方法や広報等改善できる点は、改善していく。テーマについても、担当職員の研究分野や領域を中心に行っているが、参加者のニーズに合わせた親しみやすいテーマ設定等も今後の課題である。

問合せ先 新潟県立近代美術館学芸課 電話0258-28-4112